

2022（令和4）年度

事業報告書

*6月3日理事会にて承認

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

公益財団法人 諏訪郷友会

目次

2022（令和4）年度 事業報告書

総括	-----	2
I 学生寮長善館の運営	（公益目的事業1）	-----2
1. 館生40名体制の確保		
2. 記念祭行事内容の見直し		
3. コロナ感染防止など館生の健康管理		
4. 施設・設備の保守点検		
5. 賄人・管理人の労務問題の解決		
II 学生の研修交流会議の開催	（公益目的事業2）	-----3
1. 定例行事の開催		
2. 長善館オープンセミナーの開催		
III 会報等の発行	（公益目的事業3）	-----3
1. ニュース2022夏・冬号の発行		
IV 長善館駐車場の運営	（収益事業1）	-----4
1. 高利用率の維持		
2. 駐車場周りの整備		
V 太陽光発電の売電	（収益事業2）	-----4
1. 発電施設の点検実施		
VI 寄付金の増額	（当法人の目的達成のための活動）	-----4
1. 組織的な要請活動の強化		
VII 法人管理		-----5
1. 公益財団法人の法的規定と定款の理解		
2. 役員の職務分担の見直しと確実な実施		
3. 監事・平理事からの監視・監督の強化		
4. 役員人事		
5. 新事務局の管理体制強化		

【総括】

2022（令和 4）年度は評議員、監事、理事の任期満了に伴い、評議員会の議決を受けて新体制で臨むことになりました。

諏訪郷友会の公益目的主事業である学生寮長善館は、散発的な新型コロナウイルス感染症の発生はあったものの、館生委員会主導「自主隔離療養」の徹底で乗り切ることができました。今年度も緊急事態宣言やまん延防止重点措置等の社会的対策に適応した学生寮運営を継続しました。

2010（平成 22）年に公益財団法人として認定を受けた諏訪郷友会は今年度 13 年目を迎えます。ここで新型コロナという外的要因とは別に、人事問題という内面的要因で大変大きな課題をかかえています。一部を除き解決に至っておりません。具体的には先ず役員高齢化・体調問題等により若返りが必要ですが、依然として新役員候補者が見つかりません。また新理事長・新館長の候補者も不透明であります。

次に賄人・管理人が一人勤務体制で負荷がかかっているため、管理人業務の一部を外部に委託しておりますが、これを夫婦二人勤務体制とするか、現状を是認するかを検討中であり、年内には結論を出します。

一方、長年の懸案であった事務局長後任は見つかり 2023（令和 5）年 4 月より勤務開始し、前年 5 月より勤務中の事務員と二人体制となり、管理業務が強化されます。

今年度、事業活動はコロナ下ではありましたが、細心の注意を払いながら 3 年ぶりに全ての行事を挙行し、寮生相互の親睦を深め、信頼関係の構築ができた有意義な 1 年でした。おんばしら年に因み、諏訪大社から戴いた古御柱を長善館庭に曳き建てました。

以下に事業詳細を報告致します。

I 学生寮長善館の運営（公益目的事業 1）

1. 館生 40 名体制の確保

本年度は満室 41 名で順調なスタートでした。翌年度 2023（令和 5）年度は 10 名の募集枠で面接を行いました。新入館生は 4 名で財政上からも重大な問題であり、募集活動は継続しております。一昨年度は募集枠を確保出来たのは 10 月の例もあり、館生、理事が積極的に PR を行います。

2. 記念祭行事内容の見直し

- ①おんばしら年に因み 6 年振りに長善館庭で御柱の曳行・建御柱を行いました。懇親会は時節柄中止し、会費は徴収せずに記念の紅白饅頭を配りました。建御柱終了後引綱を外すのに長時間を要したので検討の余地があります。
- ②御柱の木遣りは横内理事にお願いし、長持ち唄も横内理事に指導していただきました。長持ち唄、花笠踊りについては「楽しいお祭り」ができるように所作、唄ともに練習方法も含めて引き続き

館生主導で研究します。

3. コロナ感染防止など館生の健康管理

- ①2023（令和 5）年 5 月 8 日より従来の 2 類より 5 類に移行され、それまでの厳重な管理は必要ないと思われませんが、感染対策マニュアル、陽性者発生時の報告体制、医療機関、自治体、保健所への対応は決められた通りに行います。
- ②新入館生歓迎コンパ、追い出しコンパ等で飲みすぎにより、体調面に悪影響を及ぼす事例等が発生しています。機会を通じて、節度ある振舞いを館生に指導して参ります。

4. 施設・設備の保守管理

館長及び保守管理責任者（担当役付理事）が館内点検を適宜行っていますが、不意に発生する故障や修理の事前発見は困難です。2023（令和 5）年に予定されている長善館営繕中長期計画の実施により、専門家による診断と処置を行います。なお寮室のエアコンの汚れが顕著であり、機能劣化を防ぐため計 46 台のクリーニングを実施しました。

5. 賄人・管理人の労務問題の解決

- ①過去から引きずってきた労務問題をこれ以上深刻にしないために、「退職勧奨」すべきか慎重に進めており、館長が「賄業務」「管理業務」を「管理人業務仕様書」に抛り、要改善箇所の勧告と改善されたか否かのチェックを行っていますが、重大な過失や不履行は見つかっておりません。
- ②2 年前から一人勤務体制ですが、もとは二人勤務体制が前提のため職務の質、量ともに低下しており、管理業務を一部外部に委託しています。そこで夫婦二人の住み込みとするか、現在の雇用形態で是とするか、次年度の課題とします。

II 学生の研修交流会議の開催（公益目的事業 2）

1. 定例行事の開催

- ①夏季大会・長善館同窓会の開催 8 月 21 日（日）諏訪市で開催しました。時節柄講演会及び懇親会は中止しました。
- ②秋季大会・長善館第 131 回記念祭の開催 10 月 15 日（土）長善館にて開催、時節柄懇親会は中止しました。

2. 長善館オープンセミナーの開催

7 月 16 日（土）長善館にて開催しました。演題「芥川龍之介とパンデミック（スペイン風邪）～コロナ禍の中で浮上した問題～」講師 元フェリス女学院大学学長宮坂覚氏

III 会報等の発行（公益目的事業 3）

1. ニュース2022夏・冬号の発行

①7月に夏号、1月に冬号を発行、冬号はすべてカラー写真で好評でした。

ニュース紙面作りは今後とも同窓会会員、館生保護者、館生の積極的な紙面参加を進めていきます。また同窓会の同期会開催や動向の報告、保護者からの意見や要望事項、館生の長善館文集からの転載など、読んで楽しい紙面作りに努めます。

IV 長善館駐車場の運営（収益事業1）

1. 高利用率の維持

①年度初め27台が年度末31台と契約が進み、空きは4台となりました。

また2023年4月に新規契約2台が成約済で、空きは2台となります。

②収益は684万円（計画650万円）と105.2%の実績でした。

2. 駐車場周りの整備

不動産会社と連携強化して空きのないようにしました。また駐車場周辺の除草、ゴミ、枯葉清掃など利用者からクレームがつかないように館生の協力、調布市シルバー人材センターに協力を求めました。

V 太陽光発電の売電（収益事業2）

1. 発電施設の点検実施

売電収入が夏以降従来の70%程度まで落ち込んでおり、設置以来メンテナンスしていないため発電効率の低下が考えられました。岡谷酸素に原因究明を依頼したところ、パワーコンディショナー4台のうち1台が故障していたため、2023年5月に部品交換修理を実施予定で、今後の収益改善が見込めます。

VI 寄付金の増額（当法人の目的達成のための活動）

1. 組織的な要請活動の強化

① 組織的な活動はできませんでした。ニュース発行の機会をとらえて協力依頼と振込票の同封を行いました。

② 法人会員に対しては新規入会手続き及び退会手続きの様式を定めたところで、これより具体的活動を開始します。

③ 重要な収益源である入館者の館費を2023（令和5）年より一人当たり55,000円から60,000円に改定しました。

Ⅶ 法人管理

1. 公益財団法人の法的規定と定款の理解

現在規程類の見直しを行っており、また東京都による立ち入り検査が 2023 年度中に予定されているため、定款、規程類の更なる熟知が必要と思われます。

2. 役員の職務分担の見直しと確実な実施

役付き理事の職務分担を評議員会後見直しました。ただ職務と担務の相違等疑問な点があるので、実際に職務遂行しやすい形にさらに見直ししていきます。

3. 監事・平理事からの監視・監督の強化

監事、平理事、評議員は役付き理事の職務遂行と郷友会の運営を監視する立場にありますが、ガバナンス強化のため、会議の場のみならず常にご指導、ご助言をお願いしています。

4. 役員人事

- ①6 月の評議員会で新役員の改選となりましたが、新理事（長野市、諏訪市）が就任したものの、在京理事は変わらず 2 名で若返りはもとより新理事の就任はありませんでした。また理事長、副理事長はじめ理事は高齢であり新理事の就任は喫緊の課題です。この点においても関係者全員のご協力をいただかなければなりません。
- ②現在、理事長 1 名、副理事長 1 名、理事 5 名（常務理事 2 名含む）の計 7 名体制です。
（定款では理事 6 名以上、10 名以内、うち常務理事 5 名以内）

5. 新事務局の管理体制強化

新事務局長が 2023 年 4 月より就任します。前年 5 月より既に勤務中の事務局員と 2 人体制となり、管理の強化、特に業務革新を期待します。

以上